

平成25年度 学校関係者評価書

学校名 和歌山市立中之島小学校

作成日 平成26年2月25日

1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもちたくましく生きる子どもの育成

・確かな学力に向けた取組の充実 ・仲良く楽しく生活できる元気な学校の実現 ・どの子どもも楽しめる体育学習の推進

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	体づくり
重点目標に対する意見	情報の発信や保護者・地域・諸団体との連携・協力・交流を積極的に行うことで、さらに開かれた学校づくりができると考えられる。	学校教育のあらゆる場面で、命の大切さや一人一人が大切にされ、認められるよう、お願いしたい。	国語力の向上に努めることで、読みとる力やまとめる力が育ち、他教科の伸びにつながると期待する。	運動の楽しさ、自分の目標に向かっての努力、達成した時の喜び等、体育科学習で得られるものは多く、将来の体・心づくりに結びつくものであり、実践に期待する。
取組の状況に対する意見	学校・学年・学級だよりが定期的に出され、学校の教育活動や子ども達の状況がよくわかる。 多くのボランティアの方が学校の教育活動に参加され、子ども達の方々のもつよさやすばらしさに触れられている。 安全面を考慮し、さらに開かれた学校づくりを目指してほしい。	学校生活での道德教育を意識させる場面について、家庭に問うように知らせてくれる学校だよりは保護者の子育ての指針となり、豊かな心づくりにつながるよう思う。 縦割り活動や地域の方々との交流、幼保小連携教育が多く実施され、豊かな心づくりに有効である。	「読書タイム」は、短時間であるが、集中力が身につくにつき、1限目からの授業に落ち着いて取り組めるようだ。 子どもの「つまずき」を的確にとらえ、個別に手を差しのべ、学び続ける力を育ててほしい。	生活調べ（ドラドラ貯金）で、定期的に保護者も子ども達も生活習慣を見つめることができ、続けて実施することは有効である。また、その結果を学校・学級・保健だよりで発信し、新しい情報も付け加えていただくと、なお効果的である。
取組の適切さの検証結果に対する意見	保護者アンケートでも学校からの便りを意識して読んでいることがわかる。学校側からの質の高い情報を発信するようお願いしたい。 今年度実施したソーマキューブ作り・うどんパーティーは、子ども・家庭・地域の方との交流を深める楽しい取り組みであった。	保護者アンケートの結果から、子ども達の心の成長についての学校での取り組みに満足していることがわかる。 学年毎に役割や交流行事があり、低学年の子ども達は上級生の責任ある行動を見習おうとする姿が見られ、心の育ちを感じる。 幼保小の交流では、1・2年生の子ども達にも活躍の場が与えられ、やさしい心遣いが見うけられた。	基礎的な学力をそれぞれの学年で確実にしっかりつけてほしい。（ひとつ前の学年で基礎的な学力が十分でない子どもは、次の学年での学習に積極的に取り組むことが難しく、意欲が欠けてしまう。） 「うちどく」については参観の後の懇談会などでその取り組み方等について話してほしい。	子ども達が生きる力を身に付け、心豊かな子に育つよう、教職員のチームワークを大切にして取り組んでいただきたい。 自校以外の子ども達と記録を競えるチャレンジランキングは、スポーツに関心をもたせ、体力づくりに有効であり、これからも効果的に使ってほしい。
次年度に向けての改善方法に対する意見	地域の方や保護者のボランティアを積極的に招き、子ども達や教職員とをより強く結ぶよう期待したい。 校門横の掲示板を保護者や地域の方々がよく見ている。学校の活動を知ってもらおう一番の広報の手立てであり、工夫して掲示してほしい。 ホームページは、見る人にインパクトを与えるようなスタイルに変えてもらいたい。	家庭での保護者の役割は心の育ちに重要であり、常に学校からのアドバイスを心がけてほしい。 不登校の子やその保護者に対して、教職員やスクールカウンセラーを中心に、いろいろな働きかけを行ってほしい。（すべての子にとって居場所のある学校になるように） 交流活動やたてわり活動の様子や課題を家庭へもつと知らせてほしい。	国語力の向上のため、学ぶ楽しさを実感するため、伝え合う授業を低学年から意識して積極的に取り入れてほしい。 基礎学力の定着のため、家庭での学習時間を確保することが重要で、学年やクラスでの宿題の量や質を考えてほしい。 習熟度別の授業形態を研究し、実践に向けての努力をしてほしい。	同学年の子どもが少ない中、子ども達が各競技会に参加し、他校の子ども達と競い合うことは、さまざまな刺激を受け、よい機会となるので、できるだけ参加させてほしい。 子ども達が学習している「食育」についても、保護者の方が多く参加できる時に情報を伝えてもらいたい。

3 その他ご意見

- ・学校開放月に訪問された保護者や地域の方にも簡単なアンケートを実施してみてもどうでしょうか。（参観日の1時間では見ることのない日常が見られると思う。）
- ・参観の後の懇談会が、クラスによって人数が少ないようです。何かテーマを決めたり、子どものアンケートなどを取り入れて残ってもらう工夫やPTAからの呼びかけなどが必要と考える。参観日に各クラスに置かれているプリントは授業のめあてや見てほしいポイントなどが書かれていて、よい試みだと思う。

